

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツトレーナー学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	柔道整復・各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	松澤 伸也	実務経験と その関連資格	柔道整復師 専科教員資格			
《授業科目における学習内容》 四肢の損傷はスポーツ傷害に発生する事が多く、膝関節や足関節はスポーツ傷害に限らず多くの年齢で損傷が発生する。また、大腿部はスポーツ等での損傷がみられる。それらの損傷を知ることにより、柔道整復師として、適切な整復法、固定法、後療法を施術することができるようになることを目標とする。また、運動器を理解するためには、機能解剖を学ぶことが必須である。関節の構造と機能を理解することで、自ら思考する力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》 定期試験 100%にて評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書 ・「柔道整復学・理論編 改訂第6版」 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂 ・「柔道整復学・実技編 改訂第2版」 全国柔道整復学校協会・教科書委員会編・南江堂 参考書 ・「カラー写真で学ぶ 骨・関節の機能解剖」 医歯薬出版						
《授業外における学習方法》 ・予習について、次回授業に該当する範囲を必ず一読し、授業に臨むようにする。 ・復習について、講義でやった内容のノートを確認してから次の講義に臨むようにする。						
《履修に当たっての留意点》 欠課により休んだ回の内容が完全に無い形で進行するため、欠課がないように気をつける。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の機能解剖について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、	
		各コマにおける授業予定	上肢と下肢の役割の違いからくる構造上の違い、特徴など			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習	
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折、注意すべき疾患			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習	
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折、注意すべき疾患			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習	
		各コマにおける授業予定	大腿骨近位端部骨折			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習	
		各コマにおける授業予定	大腿骨近位端部骨折			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿骨近位端部骨折		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿骨近位端部骨折、股関節脱臼		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	股関節脱臼		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	股関節部の軟部組織損傷		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	股関節、大腿部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	股関節部の軟部組織損傷、大腿骨骨幹部骨折		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨幹部骨折		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨幹部骨折、大腿部の軟部組織損傷		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿部の軟部組織損傷		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部、膝関節部の損傷について理解する。	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿部の軟部組織損傷、大腿骨遠位端部骨折		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿部、膝関節部の損傷について理解する。 まとめ	「柔道整復学・理論編」 「柔道整復学・実技編」	下肢の骨、筋などの解剖学の復習、教科書の読み、以前の復習
		各コマにおける授業予定	大腿骨遠位端部骨折 まとめ		